

解高発第53047号  
2009年1月29日

高知県知事 尾崎正直 様

部落解放同盟高知県連合会  
委員長 野島達雄



## 要 請 書

日頃からの部落差別をはじめ、あらゆる差別の撤廃と人権の確立に向けた貴台の取り組みに敬意を表します。

さて、昨秋来の深刻な経済不況が、企業倒産や大量の失業者を生み出しています。貧困・格差が拡大し、不安が募る社会のもとで、多くの部落住民の生活や教育・福祉、就労や産業等の実態は困窮化しており、陰湿で巧妙な差別事件・人権侵害が急増しています。

今こそ、部落の現状と課題を把握し、一般施策の積極的な活用・改革・創造により、就労・産業の安定・振興、教育・福祉の向上など住民の命と生活を守る取り組みと、差別意識を払拭するための教育・啓発、人権侵害の効果的な救済等の取り組みの強化が求められています。

言うまでもなく部落差別がある限り、同和行政は憲法の理念、「同対審」答申および96年「地対協」意見具申の基本精神を踏まえ、人権教育・啓発推進法、県人権尊重の社会づくり条例、県人権施策基本方針、人権教育基本方針に沿って、人権行政の主要な柱として推進されなければなりません。

つきましては、部落差別を撤廃し、すべての人びとがそれぞれ一人の人間として人を大切にし、大切にされる人権尊重の社会の実現をめざし以下の要請をいたしますので、誠意を持ってご回答くださるようお願いいたします。

### 記

- 1 「同和对策審議会答申」および「96年地対協意見具申」に対する見解を明らかにされたい。また、今後の同和行政、人権行政推進についての見解を示されたい。
- 2 高知県人権尊重の社会作り条例、「人権教育のための国連10年」高知県行動計画、高知県人権施策基本方針の積極的な具体化をはかられたい。  
また、高知県人権尊重の社会づくり協議会の委員に被差別当事者を位置づけられたい。
- 3 他県等からの情報を得るとともに、同和行政・人権行政推進上の課題を明らかにし、必要なものにあっては国等への働きかけを行うために、全国人権同和行政促進協議会へ加入されたい。
- 4 部落差別による人権侵害の被害救済と部落差別事象の発生防止についての見解と、それへの対応について示されたい。

- 5 部落差別の現状認識・部落差別の実態把握について  
今日的な同和問題解決の課題を明らかにするために実態調査を実施されたい。
  - 6 隣保館の活性化をはかられたい。
  - 7 戸籍等不正請求防止のための「本人通知制度」について  
県から市町村へ戸籍等不正請求防止を目的とした「本人通知制度」実施について要請をおこなわれたい。
  - 8 グーグル・ストリートビュー問題について  
グーグルの地図サービス（ストリートビュー）（SV）が2008年8月から始まった。SVが部落差別、人権侵害の手段として悪用されることが危惧されるが、県の認識と対応策について明らかにされたい。
  - 9 高校奨学金制度について  
同和地区の生徒をはじめ厳しい立場の子どもたちが経済的理由で進学を断念することが生じないように、入学一時金を制度に組み込むなど奨学金制度の更なる改善を図られたい。
- (2) 奨学金制度や生活保護家庭の高等学校等就学費給付制度の周知徹底を図るよう、市町村や学校現場に徹底されたい。

以 上